

はじめに

交通事故に關与する要素は、道路利用者、車両、道路交通環境の三大要因に分類されると言われ、それぞれの観点からの交通安全対策が実施されている。道路交通環境面からの対策には抜本的対策と緊急対策に分類でき、前者は自動車専用道路の整備、バイパス・環状道路の整備、歩車道の分離等、道路の新設・改築事業による質の高い道路ネットワークの整備が含まれている。

本報告では交通事故に対する予防的対処という観点から、交通事故の発生確率の高い危険な交通状態を把握し、その原因を分析するとともに、そのような危険状態を回避する方法について検討した。更に事例として栃木県宇都宮都市圏を取り上げ、上記分析結果の検証を行った。